

事例④ 中川崎地区（2期）

事業区域の農地面積

: 22.7ha

農地バンクを活用した面積

: 16.9ha (74%)

令和6年度に引き続き、畠地が広がるエリアにて新規参入を希望する農業者と地域のマッチングを行い、2名の農業者が参入を行い事業区域の計10.9ha (48%) を借受し耕作を開始しています。

また、新たに担い手が借受けた農地のうち7.6haが耕作放棄地であり既に解消又は今後解消する見込みで地域課題の解決にも繋がりました。

なお、事業区域の6ha (26%) についても、現在は自作又は地域内の農業者が借受し耕作していますが「農地バンク」を活用し、現在の耕作者が離農した際にスムーズに担い手農家へ耕作を引き継げる体制を整えることができています。

